

執筆者紹介

玉井 敬之	本学教授
玉村 文郎	本学教授
宮本 正章	大阪府立箕面高等学校教諭
河野 仁昭	同志社史資料室長
堀部 功夫	池坊短期大学教授
内田 満	平安女学院短期大学教授
小川 直美	大阪成蹊女子短期大学非常勤講師
田中 励儀	本学助教授
岸 健治	平安女学院中・高等学校教諭
上田 正	東大寺学園中・高等学校教諭
北川 秋雄	滋賀県立八日市高等学校教諭
水上 勲	帝塚山大学教授

編集後記

安永武人先生が本学を退職されて五年余、こんなにも早く永訣の時を迎えようとは思いませんでした。積年のご研究を『戦時下の作家と作品』（未来社）にまとめられた後、さらに掘り下げていく決意を語られ、私達も心待ちにしておりましたのに、誠に残念でなりません。ご遺族のお許しを得て、本誌に掲載させていただきました。ご遺稿は、その一端でもありましよう。ご自身の戦争体験を決して風化させることなく、文学の本来の役割を追求されつづけた先生の姿勢が、よく表わされています。先生の警咳に接しえた、私達後進の者がどれだけの水準に達しうるか、はなはだ心もとない限りですが、悲しみの一年半を耐え、ここに追悼の気持を込めた拙い一文を持ち寄りました。本学国文学専攻の基礎を築かれた先生をお偲びする、紙碑のひとつとなることを願っています。

なお、編集に際し内田満氏から懇切なご協力を得ました。記して謝意を表します。

（田中励儀）

同志社国文学 第三十五号

一九九一年三月十五日 印刷

一九九一年三月二十日 発行

編集 廣川 勝美
駒木 敏

発行 同志社大学国文学会

(代表) 玉村 文郎

京都市上京区今出川通烏丸東入
振替 京都九一二七三七

印刷所

共同印刷工業株式会社
京都市右京区西院久田町